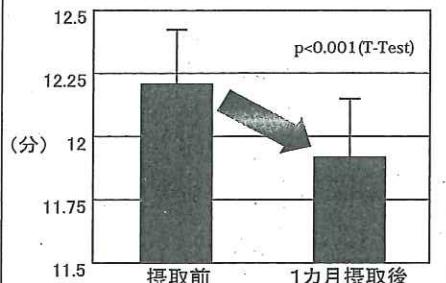


高校の野球部30名による3000m走
包接CoQ10と包接リポ酸を1ヶ月間摂取



包接体CoQ10

(株)シクロケムでは、CoQ10をγCDで包接することにより、ヒト試験で未包接CoQ10と比較して体内吸収性が大幅に改善することを確認している。更には

マウスをCoQ10摂取群、γCD包接CoQ10摂取群に分け、22日間摂取させて遊泳時間を測定した試験では、CoQ10摂取群が約60分間泳ぎ続けたのに対し、γCD包接CoQ10摂取群では約80分泳ぎ続けた。同社では「吸収性が向

上了」として、CoQ10による持久力向上作用が強化された」としている。

更に、CoQ10を再活性化するなど相乗作用のあるリポ酸との併用試験でも、この2素材を包接することで有意に持久力が向上することを確認している。マウスを10匹ずつ5群に分け、プラセボ、αリポ酸、CoQ10、αリポ酸+CoQ10、γCD包接CoQ10を2種の素材の同時摂取による高い吸収性を可能とした。

吸収性向上で持久力向上を強化

CoQ10が高濃度維持できることで、CoQ10のスポーツ分野での機能性が強化されるデータを蓄積している。

CoQ10に上したことで、CoQ10による持久力向上作用が強化された」としている。

更に、CoQ10を再活性化するなど相乗作用のあるリポ酸との併用試験でも、この2素材を包接することで有意に持久力が向上することを確認している。マウスを10匹ずつ5群に分け、プラセボ、αリポ酸、CoQ10、αリポ酸+CoQ10、γCD包接CoQ10を2種の素材の同時摂取による高い吸収性を可能とした。

+γCD包接リポ酸摂取による持久力向上作用は、ト試験でも実証されおり、高校の野球部員30名に1ヶ月間摂取させた結果、3000m走の平均タイムが約30秒も短縮したことが認められている(図)。

この2つの素材は、少しでも効率良く体内に吸収されるためには、CoQ10は食後、リポ酸は食前の摂取が必要となっていた。このため、同社では包接技術を用いることで、この効率的な摂取の時間差問題を解消できるとして研究し、2

マウスをCoQ10摂取群、αリポ酸を摂取させマウス

の運動能力を比較。その結果、αリポ酸とCoQ10の併用群が上位2群となった

が、その中でもγCD包接群は未包接群と比べ持久力が更に1.5倍向上することを明らかにしている。

このγCD包接CoQ10